

無料で学べる公開講座

どなたでもご参加
いただけます！

放送大学山口学習センターでは、無料の公開講座を開催しております。お気軽にご参加ください。

会場

放送大学山口学習センター（山口市吉田1677-1 山口大学吉田キャンパス内）

お申込み

放送大学山口学習センターまで、電話またはメールでお申込みください。

TEL:083-928-2501 Eメール:yamasc35@ouj.ac.jp



講座名（定員）	講師	開催日時	内容	
「考えること」の面白さ (定員:25名)	岡村 康夫 山口学習センター所長 山口大学名誉教授	5/20 (土) 6/17 (土) 7/15 (土) 9/16 (土) 9/9 (土)	10:30~12:00	「考えること」は人間にとって一番大切な営みです。そもそも「人として生きること」の根本に、この「考えること」が含まれています。古今東西の名著を手掛かりに、「生きること」そして「考えること」を一緒に具体的に掘り下げてみませんか。
経済学の面白さ (定員:25名)	藤井 大司郎 山口学習センター客員教授 山口大学名誉教授	4/8 (土) 5/13 (土) 6/3 (土) 7/1 (土) 8/5 (土) 9/2 (土)	15:15~16:45	経済学は理解するもの、覚えるもの、と思ってませんか？ 身につくもの、使えるもの、として経済学を「実習」します。
センサの仕組みとセンシングについて (定員:25名)	田中 正吾 山口学習センター客員教授 山口大学名誉教授	4/9 (日) 5/14 (日) 6/4 (日) 7/2 (日) 7/16 (日) 8/6 (日) 9/3 (日)	13:15~14:45	身の周りには種々のセンサがあります。工業的なものも含めれば、10cm相当の分厚い1冊の本になるくらい実に様々なセンサがあり、用途に応じて使い分けられています。本講座では、重量、速度、加速度、傾斜、温度から音波、超音波、レーダなど、主に身の周りの代表的なセンサについて考え、センサの仕組み、働き、用途などに理解を深めていただきます。
園芸食品の“おいしさ”と保蔵の科学 (定員:25名)	山内 直樹 山口学習センター客員教授 山口大学名誉教授	4/16 (日) 5/21 (日) 6/18 (日) 7/16 (日) 8/27 (日) 9/17 (日)	13:15~14:45	青果物は食卓に彩りを添え、保健食品的効果を示す重要な園芸食品です。本講座では果実を中心に、生産と流通・貯蔵加工の現状、並びに“おいしさ”と健康に関わる成分について学び、食生活における園芸食品の役割について考えてみたいと思います。
運動健康科学 ～健やかに老いるために～ (定員:25名)	塩田 正俊 山口学習センター客員教授 山口大学名誉教授	5/20 (土) 6/17 (土) 7/15 (土) 8/26 (土) 9/9 (土)	15:15~16:45 13:15~14:45	世界保健機関の報告によれば、世界の死因の主な危険因子として身体不活動が第4位に、また、日本でも主に生活習慣病による死亡数からみた危険因子の第3位に身体不活動(運動不足)があげられています。改めて身体活動・運動実践の意義について考えます。
山口県暮らしの民俗 (定員:25名)	坪郷 英彦 山口学習センター客員教授 山口大学名誉教授	4/9 (日) 5/14 (日) 6/4 (日) 7/2 (日) 8/6 (日) 9/3 (日)	15:15~16:45	山口県を中心に、衣食住、村の暮らし、自然を知る知恵、生老病死などテーマを取り上げて話を進めます。現在の暮らしの中にも、古くから継承されてきた考えや行動があります。めまぐるしく変わる日常を捉え直します。
人と社会を解読する (定員:25名)	小谷 典子 山口大学名誉教授	4/8 (土) 5/13 (土) 6/3 (土) 7/1 (土) 8/5 (土) 9/2 (土)	13:15~14:45	社会は人々が他者と織り成す日々の生活の営みによって維持され、発展していくものである。講座では、身近な生活場面を具体的に取り上げて、意見交換しながら解明し、社会の現状や課題を読み解いていきたい。これまで取り上げたテーマは「踊り・ダンス」「ごちそう」「遊び」「学び」「仕事・働き」である。学期始めに話し合っ、テーマを決める。
数独の面白さ (定員:25名)	渡邊 正 前・山口学習センター客員教授 山口大学名誉教授	4/16 (日) 5/21 (日) 6/18 (日) 7/16 (日) 8/27 (日) 9/17 (日)	15:15~16:45	数独というパズルがありますが、これを楽しみながら、できれば自分で解決方法を編み出し、計算機プログラムのアルゴリズムまで考えることにします。ただし、計算機プログラムの実装化まではいたしません。また、時間があれば、他のパズルも考えることにします。
山と河 (定員:25名)	加納 隆 前・山口学習センター客員教授 山口大学名誉教授	6/17 (土) 7/15 (土) 8/26 (土) 9/16 (土)	13:15~14:45	山高きが故に貴からず、山が険しいのは河が削ってくれるから。いずれの人にも心の原風景の中にきつと山と河がある。山口県の山と河、日本の山と河、そして世界の山と河。地質屋から見た100名山とは？あの山はどうなっているの？景観を楽しみながら、山と河の織りなす地形とその背景にある地質について考えます。